土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川太田川水系榎川支川11外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor-2	調査位置	広島県安芸郡府中町山田四丁目外	北緯	34° 23' 51.7692"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年12月16日～ 令和2年12月23日	東経	132° 31' 33.1792"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 108.30m	角度	180°上 90° 0°下 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	4.00m	地盤勾配	10°鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1-B / エンジン：ヤンマー NFD12 / ポンプ：東邦地下工機BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	107.85	0.45		礫混り砂		暗灰			径5～50mm前後の角礫を混入し、やや粘性を帯びる。	
1				玉石混り砂		褐灰	rd2		未固結の玉石混り砂からなる。 コア長15cm前後の玉石を混入し、径5～30mm前後の角礫が点在。 砂分は粗粒砂が主体。	
2	106.40	1.90		花崗岩		淡灰			花崗岩(軟岩)。 岩組織を明瞭に残す。 深度3m付近まで硬質部が優勢で、片～柱状コア。 深度3m以深は亀裂が発達し、礫～片状コアで採取される。	
3										
4	104.30	4.00								
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	1	1	2	4/300		
	1.45						
50以上	2.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	3.20	50/20			50/20	20	
	3.22						
50以上	4.00	50/20			50/20	20	
	4.02						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				12/21
				12/22